



Propel

ソフトウェアバージョン: 2.20

リリースノート

ドキュメントリリース日: 2016年8月

ソフトウェアリリース日: 2016年7月



Hewlett Packard
Enterprise

ご注意

保証

Hewlett Packard Enterprise製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、Hewlett Packard Enterpriseはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、Hewlett Packard Enterpriseからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© 2014 - 2016 Hewlett Packard Enterprise Development LP

商標について

Adobe®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

UNIX®は、The Open Groupの登録商標です。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。<https://softwaresupport.hpe.com/>

このサイトを利用するには、HPE Passportに登録してサインインする必要があります。HPE Passport IDに登録するには、HPEソフトウェアサポートサイトで **[Register]** をクリックするか、HPE Passportログインページで **[Create an Account]** をクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、最新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPEの営業担当にお問い合わせください。

サポート

次のHPEソフトウェアサポートサイトを参照してください。<https://softwaresupport.hpe.com>

このサイトでは、HPEのお客様窓口のほか、HPEソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPEソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPEソフトウェアサポートWebサイトのサポート範囲は次のとおりです。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPEサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HPE Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HPE Passport IDに登録するには、HPEサポートサイトで **[Register]** をクリックするか、HPE Passportログインページで **[Create an account]** をクリックします。

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。<https://softwaresupport.hpe.com/web/softwaresupport/access-levels>

目次

はじめに	4
本バージョン	4
インストールノート	4
ドキュメント	4
本リリースの新機能	6
本リリースで解決された問題	9
既知の問題、制限事項、回避方法	11
本リリースで解決されたカスタマー問題	16
機能拡張	16
修正済み項目	20
よくある質問	32
ドキュメントのフィードバックの送信	36

はじめに

このリリースノートでは、HPE Propel 2.20リリースで行われた変更内容について、マニュアルやオンラインヘルプには記載されていない重要な項目を説明します。

本バージョン

HPE Propelは、複数のサービスプロバイダーでの単一のユーザーエクスペリエンス、容易な統合、迅速な導入を実現可能な、サービスブローカー向けの製品です。統合製品の詳細については、『HPE Propel System and Software Support Matrix』を参照してください。

HPE Propel環境が優れたパフォーマンスと安定性を発揮できるように、次のタスクを完了してからインストールを開始してください。

- 各コンポーネント製品でサポートされるハードウェアとソフトウェアが、インストールの最小要件を満たしていることを確認します。
- 関連パッチとパッチリリースのホットフィックスが、コンポーネント製品に適用済みであることを確認します。
- リリースノートで、各コンポーネント製品に追加の変更内容や制限事項がないか確認します。

インストールノート

インストール要件については、『HPE Propel System and Software Support Matrix』を参照してください。HPE Propelのインストールと構成の手順については、『HPE Propel Installation and Configuration Guide』を参照してください。

ドキュメント

HPE Propelのドキュメントは、HPEソフトウェアサポートWebサイト (<https://softwaresupport.hpe.com/group/softwaresupport>) から入手できます (このWebサイトはHPE Passportへの登録が必要です)。

このサイトを利用するには、サインインまたは登録が必要です。ページ上部の**検索**機能を使用すると、ドキュメント、ホワイトペーパーなどの情報ソースを検索できます。カスタマーサポートサイトの使用方法の詳細については、次のURLにアクセスしてください。

https://softwaresupport.hpe.com/documents/10180/14684/HP_Software_Customer_Support_Handbook/

HPE Propelのすべてのドキュメントの詳細と更新については、HPE Propelドキュメントリストを参照してください。

HPEでは、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントに関するコメントは、Propel_IE@hpe.comまでお寄せください。

本リリースの新機能

HPE Propel 2.20リリースでは、次の機能が新たに追加されています。

- **サブスクリプションアプリケーション** – 機能強化され、名称は**サービス**に変更
 - HPE Cloud Service AutomationおよびHPE Service Managerでサポートされます。
 - [サービスインスタンスリスト] ビュー:
 - 組織管理者は、特定のユーザーや特定のサービスに関する、組織内のサービスインスタンスを表示できます。
 - ユーザーは自分自身のサービスを表示できます。
 - グループ化およびフィルタリング機能が利用できます (たとえば、特定の所有者に対してカタログアイテム別にグループ化)。
 - [サービスインスタンスの詳細] ビュー:
 - サービスコンポーネントに関して、アクションを含む包括的な情報を提供します。
 - 要求および特殊なサービスアクションによる変更 (一度に1つの要求、履歴、パラメーター)
 - サービスアクションには価格設定と承認を設定できます (たとえば、VMのサイズ変更の場合、小さなVMをオーダーして、承認なしにサイズ変更することはできません)。
 - 新しいアクション – 所有権の移譲およびグループ消費。
 - 関連するサポート要求:
 - サービスに関連するチケットをファイルする場合、属性はインスタンスから自動的に取得されるため、ユーザーがそれらを指定する必要はありません。
 - チケットにはエンドユーザーが以前に送信したサポート要求が表示されます。
- **自分のワークストリーム**
 - 通知機能が新しくなり、さまざまな役割に合わせて通知が設定されます。
 - エンドユーザーは、オーダーステータスの変更や組織のお知らせを含む通知を受け取ります。
 - 承認者は、承認待ちやチケットの変更に関する通知を受け取ります。
 - 組織のお知らせ、オーダー、承認など、さまざまなソース別に通知をフィルタリングできます。
 - 組織管理者は、「管理」に関する通知を同じ組織内のすべてのユーザーにプッシュできます。
- **ビジネス承認**

- 新しいビジネスプロセスアプリケーションで、HPE Propelの強化された承認ポリシーが利用できます。
- ネイティブのビジネス承認ワークフロー機能をサポートします (ラップトップなど)。
- ビジネス承認を定義して、価格設定のしきい値などの追加機能を利用できるようになりました (たとえば、価格が500ドルを超えるラップトップは財務部門による承認が必要だが、価格が50ドルのキーボードは直属のマネージャーの承認しか必要としないなど)。
- 新しいビジネスプロセスの承認は、従来の承認ポリシーが使用できるすべての場所で使用できます。

● 複合バンドル

- HPE Propelで複数のサプライヤーのアイテムを組み合わせたバンドルを定義できます (たとえば、「新入社員」バンドルには、HPE OOでフルフィルメントを行う新規アカウント、HPE SMでフルフィルメントを行うラップトップ、HPE CSAでフルフィルメントを行うVMを含めることができます)。
- バンドルアイテムの依存関係を設定できます。

- シーケンス指定 - アイテムAのフルフィルメントはアイテムBの前に行う必要があります。
- 入力/出力 (パラメーターエイリアス) マッピング - アイテムAのフルフィルメント後に取得した情報を使って、アイテムBのオーダーとフルフィルメントを行うことができます。

例: 新入社員バンドルで、HPE OOで「新入社員ID」を作成し、その後、新規ユーザーラップトップのフルフィルメントを行う際に、HPE OOからの出力 (社員ID) をHPE SMの入力にすることができます。

- ビジネス承認は、必要に応じて、次のいずれのレベルでも構成できます。
 - バンドル承認: Propelでのバンドル全体の承認
 - バンドル明細承認: Propelでの明細の承認
 - フルフィルメント承認: HPE SM、HPE SAW、HPE CSAなどのフルフィルメントシステムで定義されたビジネス承認 (フルフィルメントのビジネス承認はバックエンドシステムに依存します)。

● 代理要求

- 代理要求で偽装がサポートされるようになりました。グループのメンバーがターゲットグループのメンバーを偽装し、代理でカタログアイテムをオーダーできます。偽装者/要求者は受信者のカタログからアイテムをオーダーできます。
- 要求者の要求と受信者の要求を正しく追跡できるように表示機能が強化され、要求者と受信者の両方のパースペクティブが提供されます。

● 動的なデータソース

- 動的な値を使用する際の**カタログアイテム**フォームの定義が容易になりました。REST APIおよびSOAP APIを使用して、ドロップダウンリストにフルフィルメントシステムなどからの値を読み込むことができます。
- HPE Propelフォームエディターにより、RESTまたはSOAP API統合を使用してサードパーティシステムから動的なデータソースを取得できます。これはサードパーティシステムのデータを取得する必要のある軽量なユースケース向けです。
- **ショッピング** – 持続型ショッピングカートにより、追加のショッピングセッションでも状態が維持されます。
- **要求のクラスター化**
 - 同じサプライヤーに対する要求がグループ化されます。複数のカートアイテムは、HPE SMの1つのフルフィルメント要求になります。
 - この要求のグループでは、要求に承認を関連付けることができます。
 - その場合も、ユーザーは1つのアイテムまたは[今すぐオーダー]による「ノンカート」チェックアウトを選択できます。
- **将来の承認** – ユーザーは承認チェーン全体 (承認の履歴、現在待ち状態になっている承認、および将来の承認を含む)を参照できます。
- **ID管理**
 - 新しいロールベースのアクセス制御 (RBAC) のロールとアクセス許可により、HPE Propelユーザーのアクセスと機能を制御できます。
 - 管理者はカスタムロールを作成し、HPE Propelのユーザーグループに割り当てることができます (たとえば、**スタートパッド**のウィジェットやアプリケーションでRBACを使用できます)。
 - SAML 2.0シングルサインオン (SSO) の新規サポート。
 - 新しい組織の言語の管理 (adminおよびorgadminユーザーは組織内でサポートされる言語データのローカリゼーションを管理できます)。
- **要求の同期** – HPE Propelの要求を、HPE Propel以外で作成されたHPE SMおよびHPE SAWの要求から同期することができます。サービスデスクエージェントは、HPE SMまたはHPE SAWで要求を直接作成できます。これらの要求はHPE Propelで同期されます。
- **HPE SMの明細承認** – HPE SMの明細承認の追加サポート。
- **フォームエディター** – フォームエディターの機能にリッチテキストを追加。
- **バグの修正**

本リリースで解決された問題

CR QCCR1D194496 – ソースSMで作成したインシデントがターゲットSAWのインシデントと重複する

HPE Service Manager (HPE SM) のインシデントに新しいアクティビティラインがあり、インシデントが HPE Service Anywhere (HPE SAW) にリンクされていると、HPE SAWでインシデントが重複して作成されます。

CR QCCR1D211128 – アンインストール再インストール後にサービスが起動しない

HPE Propelのインストールが失敗した後に、`setup.sh purge`を実行し、続いて`setup.sh install`で再インストールすると、特定のプロセスが正しく再起動しない可能性があります。

CR QCCR1D214594 – Propelの再起動が失敗する

`propel stop`コマンドの実行後に、`/var/run/propel`内の一部のPIDファイルが削除されません。これにより、`propel start`コマンドの実行時に、一部のHPE Propelサービスが起動しなくなります。

CR QCCR1D217150 – 認証フォームで、RTL言語の入力フィールドが正しく表示されない

ID管理アプリケーションの[認証]ダイアログで、RTL言語 (ヘブライ語やアラビア語など) の入力フィールドが正しく表示されません。

CR QCCR1D217255 – ポータルのカタログリストビューに空きスペースがある

HPE Propelのカタログリストビューに空きスペースが表示されます。カタログアイテムの行が(スペース数文字分)右側にシフトして表示され、カタログアイテムの場所に空白が表示されます。

CR QCCR1D217291 – 検索結果からアクセスすると、[サポートの要求]ヘッダーに問題が発生する

[サポートの要求]ビューに移動すると、ヘッダーに未翻訳のロケールキーが表示されることがあります。

CR QCCR1D217628 – 2.10 OVA - mppサービスの起動が失敗する

製品のスタートアップ中に、MPPプロセス(ナレッジ管理)がPIDファイルを正しく更新できず、スタートアップで正常な起動を検出できません。

CR QCCR1D217632、CR QCCR1D217676 – 新しいサービス要求やサポート要求に即座にコメントを追加すると、SMおよびSAWの両方でFTLに失敗する

サポート要求またはサービス要求の作成直後にコメントを追加すると、コメントはHPE PropelからHPE Service ManagerまたはHPE Service Anywhereに伝達されません。

CR QCCR1D217720 – XHRのジャンプスタート: 413 Payload Too Large

API呼び出しで「413 Payload too Large」エラーメッセージが返され、これにより、データが失われるか青色のエラー画面が表示されます。

CR QCCR1D217775 – カート内に同じアイテムがあるときに [今すぐオーダー] を実行すると、アイテムではなくカートの内容がオーダーされる

オーダーの作成時に、[チェックアウト] および [オーダーの確認] ビューに間違った価格が表示されることがあります。

既知の問題、制限事項、回避方法

CR QCCR1D204702 - Propelアプライアンス内のパスワードに一貫性がない

問題	HPE Propelのインストールを使用する際に、一部のデフォルトパスワードは更新されていますが、一部のデフォルトパスワードは以前のリリースと同じです。ただし、他のデフォルトキーストアおよびデータベースのパスワードの多くは、1.xxリリースと同じままです。
原因	製品の不具合です。
回避方法	更新後のデフォルトパスワードが使用できない場合は、旧リリースのパスワードを使用してください。

CR QCCR1D216261 - Propel 2.01: KM外部リンクの問題/ Chrome

問題	KM記事中の外部リンクをクリックしてもページがロードされない場合があります。
原因	製品の不具合です。
回避方法	次のいずれかの回避方法を使用します。 <ul style="list-style-type: none">Ctrlキーを押しながらクリックして、リンクを新しいタブで開きます。コンテンツのHTMLリンク(アンカータグ)で「target="_blank"」属性を使用します。

CR QCCR1D218300 - タイムアウト後にChromeのページを更新するのに間違ったリダイレクトが使用されていた

問題	adminユーザーが「カタログ接続」ページを表示していて、セッションがタイムアウトした場合、再度ログインしたときにHPE Propelによって「サプライヤー」ページにリダイレクトされます。
原因	製品の不具合です。
回避方法	ユーザーはスタートパッドから「カタログ接続」に簡単に移動できます。

CR QCCR1D219535 - Propel 2.10: サードパーティ証明書の適用後のrabbitmq.configが正しくない

問題	サードパーティ証明書の適用後のrabbitmq証明書が正しくありません。
原因	製品の不具合です。

CR QCCR1D219535 - Propel 2.10: サードパーティ証明書の適用後のrabbitmq.configが正しくない(続き)

回避方法	<p>/etc/rabbitmq/rabbitmq.configファイルを手動で編集し、次のような正しい構成にします。</p> <pre>[{rabbit, [{tcp_listeners, []}, {ssl_listeners, [5671]}, {ssl_options, [{cacertfile, "/opt/hp/propel/security/CA.crt"}, {certfile, "/opt/hp/propel/security/propel_host.crt"}, {keyfile, "/opt/hp/propel/security/propel_host.key.rsa"}, {verify, verify_none}}}]}, {rabbitmq_management, [{listener, [{port, 15672}, {ssl, true}, {ssl_opts, [{cacertfile, "/opt/hp/propel/security/CA.crt"}, {certfile, "/opt/hp/propel/security/propel_host.crt"}, {keyfile, "/opt/hp/propel/security/propel_host.key.rsa"}]}]}]}]</pre>
------	---

CR QCCR1D222013 - 国際化:中国語でのSMとPropelの間の言語コードの違いにより文字列がローカライズされない

問題	ユーザーが中国語でHPE PropelのUIを表示し、新しいサポート要求を入力するか、既存のサポート要求を表示すると、[緊急度]と[通知方法]の値がローカライズされずに表示されます。これらの値は英語で表示されます。
原因	HPE Service Managerサーバーでは、内部データベースに保存する中国語に、ブラウザーで送信される言語コード (zh-CN) と異なるコード (zh-Hans) を使用しています。
回避方法	回避方法はありません。ユーザーには英語の値が表示されます。

CR QCCR1D222551 - 国際化: SMのzh-cn/HE環境で作成された新規サービスを集約履歴で参照できない

問題	[サービスカタログ] → [管理] → [ローカライズされたカタログアイテム] メニューツリーを使用して、HPE SMのカタログアイテムを中国語にローカライズした場合、変更内容がHPE Propelに正しく集約されません。
原因	製品の不具合です。
回避方法	アイテムのローカライズと集約には、[サービスカタログ] → [管理] → [カタログの管理] を使用します。

CR QCCR1D225562 - [スタートパッド][VPAT/WCAG - アクセシビリティ] フレームの識別とナビゲーションを容易にするため、フレームにテキストのタイトルを付ける必要がある

問題	フレームでは、各フレームの内容を表すため、title属性を追加する必要があります。VPAT 1194.22(i) およびWCAG 4.1を参照してください。
原因	HPE Propelは顧客が作成するカスタムコンテンツ (ウィジェット) へのアクセシビリティサポートの追加をサポートしていません。
回避方法	カスタムウィジェットを作成する場合は、aria属性を追加してアクセシビリティ対応にすることができます。 参考: https://www.w3.org/TR/2016/WD-wai-aria-1.1-20160317/

CR QCCR1D226598 - ADユーザー名の大文字/小文字がSMの大文字/小文字と一致しない場合にユーザーが承認を参照できない

問題	大文字のログインIDを使用するオペレーターは「Approvals」を参照できません。小文字のログインIDを使用するオペレーターは「approvals」を参照できます。
原因	HPE Propelの承認/否認ユーザー名の大文字/小文字が、HPE Service Managerユーザー名の大文字/小文字と一致していません。
回避方法	[承認] ページを使用して要求の承認/要求の否認を行います。[承認] ページにアクセスするには、右上隅のメニューを使用します。

CR QCCR1D226996 - [BH] [RSS] - メインフィード画像にブロックノイズが発生する

問題	大画面では、RSSフィードで表示される画像にブロックノイズが生じているように見えます。
原因	RSSソースフィード。
回避方法	大きな画像をサポートしているRSSフィードを使用します。

CR QCCR1D228478 - オーダーの詳細: サービスインスタンスの最大件数が10件

問題	オーダーのレビュー時には、オーダーの結果として提供された関連するサービスが表示されます。大きなオーダー (11アイテム以上) の場合、対応するサービスの一部しか表示されません。合計数は画面の左側に表示されますが(「数量」というラベル)、右下にある [サービスインスタンス] ビューには最大 10 件までしかサービスが表示されません。
原因	製品の不具合です。
回避方法	すべてのサービスを表示するには、HPE Propel スタートパッドからサービスアプリケーションを使用します。

CR QCCR1D228548 - 移行: 2.10からのアップグレード後にオーダーの詳細を表示できない

問題	HPE Propel 2.10から2.20へのアップグレード後に、ユーザーがオーダーの詳細を参照できません。
原因	製品の不具合です。
回避方法	<p>この問題を解決するには、rootとしてHPE Propelマシンに接続し、次のコマンドを実行します。</p> <pre>su -l postgres psql -d catalog</pre> <p>続いて、次のクエリを実行します。</p> <pre>CREATE OR REPLACE FUNCTION request.jsonb_contains_any(JSONB, TEXT ARRAY) RETURNS bool AS 'SELECT \$1 ? \$2' LANGUAGE sql IMMUTABLE;</pre> <p>オーダーが正しく表示されるようになるはずです。</p>

CR QCCR1D228906 - LDAP構成のグループメンバー属性に関するカスタマーの誤解

問題	LDAP構成のグループメンバー属性の「memberOf」を使用すると、グループメンバーの計算が間違った結果になり、どのLDAPグループにもメンバーが存在しないことになります。
原因	グループメンバーの計算を非同期プロセスに移動してパフォーマンスを上げたことにより、グループメンバーの計算方法が変更されていました。以前は、ユーザーオブジェクトに「memberOf」属性がある場合、グループメンバーの計算にその属性が使用されていました。現在使用されているのは、メンバーを特定するグループ属性のみです。
回避方法	メンバーを特定するLDAPグループの属性名を入力します。属性名はスキーマによって異なりますが、最も一般的な値は「member」と「uniqueMember」です。ほとんどのインストールで、グループメンバー属性の値として「member,uniqueMember」を使用できるはずです。

CR QCCR1D219242 - IDMIに20個のグループしか表示されない

問題	IDMIに20個のグループしか表示されません。
原因	製品の不具合です。
回避方法	別のロールのグループボタンを使用してから、下にスクロールして残りのグループを取得します。これにより、ドロップダウンのロックが解除されます。

CR QCCR1D228565 - orgadminがサポート要求およびナレッジアプリケーションにアクセスできない

問題	Organization Administratorロールにサポート要求およびナレッジアプリケーションにアクセスするのに必要なアクセス許可がありません。これらのアプリケーションにアクセスできるようにする必要があります。
原因	Organization AdministratorロールにSupport Usersアクセス許可がありません。
回避方法	この問題を解決するには、次のいずれかの回避方法を使用します。 <ul style="list-style-type: none">Organization AdministratorロールにSupport Usersアクセス許可を追加します。Organization Administratorロールにグループを追加する際に、Consumerロールを合わせて追加します。

本リリースで解決されたカスタマー問題

HPE Propel 2.20では、次のカスタマー問題が解決されています。問題は便宜上グループ化されていますが、予想とは異なるグループで見つかることもあるため、すべての問題を検索してください。

- 「機能拡張」(16ページ)
- 「修正済み項目」(20ページ)

機能拡張

カタログ

CR	問題	解決策
QCCR1D215564	キャンセル済みオーダーや承認待ちオーダーを再送信する方法が必要です。	オーダーを再送信できるようになりました。

ID管理

CR	問題	解決策
QCCR1D219399	HPE Propelを拡張して、ログインでSAMLを使用できるようにしてください (HPE Propel外での認証の場合。承認は引き続きHPE Propel内で行います)。	SAMLがサポートされました。
QCCR1D225550	Active Directoryを設定する方法が複数あります。Kerberosから返されたUPNがADドメインのUPNと一致しない場合は、統合Windows認証 (IWA) による処理が行えません。	この問題は解決済みです。
QCCR1D225629	Kerberosトークンで返されたユーザー情報がdMの予想値と一致しない (user@domain値がUPNでない) 場合、HPE PropelにIWAでログインできません。	この問題は解決済みです。

インストーラー

CR	問題	解決策
QCCR1D223437	HPE Propelの構成で、HPE Service Managerとの通信にSSLしか使用できません。TLSのサポートも追加してください。	HPE Propelの構成で、HPE Service Managerとの通信にTLSを使用できるようになりました。

スタートパッド

CR	問題	解決策
QCCR1D217455	カスタムウィジェットをスタートパッドに追加し、そのウィジェットを表示できるユーザーをロールに基づいて管理者が構成することができます。現在サポートされているのはConsumerとAdminですが、ロールの分類をもっと細かくする必要があります。	スタートパッドに表示するタイルを、ログインユーザーのロール/アクセス許可に基づいてフィルタリングできるようになりました。
QCCR1D223026	ページのタブ名に組織のタイトルが表示されません。	管理者がID管理で設定するポータルタイトルが、ブラウザーのタブタイトルとしてアプリケーション名と共に表示されるようになりました。

HPE Propel全般

CR	問題	解決策
QCCR1D214881	サービスデスクが情報を要求していても、HPE Propelのユーザーには要求が表示されません。HPE Propelの[自分のチケット]と[自分の要求]に、要求された情報があることをエンドユーザーに通知するアラートが必要です。	この問題は解決済みです。
QCCR1D214878	エンドユーザーにアイテムを表示する場合は、必ずユーザーの資格に基づいて行うようにしてください。現在の機能では、カテゴリ配下のすべてのアイテムがすべてのユーザーに表示されるため、十分ではありません。	アイテムの表示に資格が考慮されるようになりました。

HPE Propel全般 (続き)

CR	問題	解決策
QCCR1D221133	HPE Service Managerカタログの定義で、行数の多いテーブルに対してユーザー選択を行うようになっている場合、ユーザーはテーブル内のレコードを検索したり選択することができません。テーブルによってはHPE Service Managerでの検索に時間がかかるため、そのような場合はHPE Propelで動的検索を無効にする必要があります。	要素単位で動的検索を無効にするオプションを追加しました。
QCCR1D221577	POR、PR、PT IDの桁数をデフォルト定義の5桁から変更できるようにしてください。QCCR1D222853も参照してください。	/opt/hp/propel/catalog/ config.ymlファイルの内容を次のようにします。 [for Propel 2.01] request: humanReadableIdDigits: 10 [for Propel 2.10] humanReadableIdDigits: 10 [for Propel 2.20] humanReadableIdDigits: 10

Service Exchange

CR	問題	解決策
QCCR1D215115	エンドユーザーが必要に応じて要求をフォローアップできるように、要求の承認者を確認できるようにしてください。	エンドユーザーがすべての承認者を確認できるようになりました。グループ承認が拡張され、グループのメンバーがすべて表示されるようになりました。
QCCR1D220724	<p>明細承認のサポートがHPE Service Managerで定義されていることが必要です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. HPE Service Managerで、HPE Propelユーザーを承認者として新しい承認定義を作成します。 2. カタログアイテムで、その新しい承認定義を明細承認として追加します。 3. HPE Propelにログインしても、HPE Propelで保留中の承認がありません。 	クラスター化された要求とサブ要求のエンティティが導入され、明細承認がサブ要求レベルで表示されます。

ショッピング

CR	問題	解決策
QCCR1D221023	代理要求では、要求者のサービスと要求対象者のサービスを区別する必要があります。別のユーザーの代わりにアイテムをオーダーする場合、そのユーザーが利用できるアイテムのみにオーダーが制限される必要があります。	別のユーザーの代わりにオーダーする場合は、先に代理ユーザーを指定する必要があります。指定するとカタログが更新され、代理ユーザーが利用できるアイテムのみ表示されます。この代理要求ビューを終了すると、カタログアイテムが復元され、自分が利用できるアイテムが表示されます。
QCCR1D224191	<p>HPE Propelポータルにはショッピングカート機能がありますが、カートのライフサイクルがユーザーのブラウザーセッションに関連付けられています。そのため、ユーザーがショッピングカートにサービスカタログアイテムを追加しても、次の場合にそれらのアイテムは失われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザーがHPE Propelからログアウトする。 タイムアウトのためにユーザーのセッションが終了する。 <p>ユーザーがHPE Propelにログインし直しても、カートに追加したアイテムは利用できなくなっています。</p>	ショッピングカート機能が強化されました。カートに入れたアイテムは恒久的に残るようになり、カートのライフサイクルがユーザーのブラウザーセッションに直接関連付けられなくなりました。つまり、ユーザーがログオフして後でログインし直したり、別のブラウザーを使用しても、同じショッピングカートが表示されます。
QCCR1D213777	ポータルでのショッピング中に、始めからやり直さなくても再オーダーできるようにしてください(以前のオーダーをテンプレートとして使用するなど)。	ユーザーは、既存のオーダーやオーダーアイテムを使用して再オーダーできます。再オーダーしたアイテムはユーザーのカートに追加されます。カタログアイテムに構成オプションが含まれている場合、ユーザーのカートにアイテムを追加するとそれらのオプションは保持されます。

サブスクリプション/サービス

CR	問題	解決策
QCCR1D215203	HPE Propelでサブスクリプション(サービス)を削除しても、バックエンドのHPE CSAサブスクリプションが削除されずに「キャンセル済み」状態で残ります。	HPE CSAサブスクリプションが正しく削除されるようになりました。

サブスクリプション/サービス (続き)

CR	問題	解決策
QCCR1D215112	HPE Cloud Service Automation (HPE CSA) サブスクリプション (サービス) の所有権をHPE Propel内から移譲する方法が必要です。	<p>HPE CSAサブスクリプションの所有権は、ユーザーがHPE Propelにログイン後に次の手順で移譲できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [サービス] に移動します。 2. 目的のサブスクリプションをオープンします。 3. 画面右側のドロップダウンメニュー (...) で [所有権の移譲] オプションを選択します。 4. ポップアップウィンドウで所有権の移譲先ユーザーを選択し、[確認] をクリックします。 <p>この機能は、サブスクリプションを管理できるユーザーが利用できます。所有権の移譲は、ユーザーにサブスクリプション管理アクセス許可 (SUBSCRIPTION_ADMIN) がある場合に行えます。Orgadminにはこのアクセス許可がデフォルトで与えられています。</p>

修正済み項目

カタログ

CR	問題	解決策
QCCR1D221135	HPE Service Managerカタログの定義で、行数の多いテーブルに対してユーザー選択を行うようになっている場合、ユーザーはテーブル内のレコードを検索したり選択することができません。HPE PropelからHPE Service Managerに複数の要求が同時に発行されるため、応答が遅い場合にクエリをさらに追加しても効果はありません。HPE Propelは、HPE Service Managerへの前の要求の応答が戻るのを待ってから、次の要求を行う必要があります。	ドロップダウンリストフィールドの先行入力を無効にできるようになりました。

カタログ (続き)

CR	問題	解決策
QCCR1D220103	チェックボックスのラベルテキストが長い場合、チェックボックスの横ではなく下に表示されます。チェックボックスはテキストの上です。	チェックボックスとラベルの相互作用が変更され、ラベルは必ずチェックボックスの右側 (RTLテキストの場合は左側) に表示されるようになりました。
QCCR1D221646	バッチを作成してエンドユーザーに価格を表示しないように選択しても、引き続きアイテムに価格が表示されます。	この問題は解決済みです。
QCCR1D223003	HPE Propel 2.10で、カタログ要求が複製されることがあります。	この問題は解決済みです。
QCCR1D223355	HPE PropelとHPE Service Managerで英語の説明を空欄にすると、要求でカタログアイテムのドイツ語の説明が表示されます。つまり、説明が誤った言語で表示されます。アルファベット順では、ドイツ語 (de) が英語 (en) の前に来ます。	ローカライズ済みカタログアイテムのオーダー時にHPE Propelの[オーダーの目的] フィールドを空欄にすると、HPE SMの更新には、アルファベット順で最初に利用可能なバージョンではなく、ローカライズ済みの説明が使用されるようになりました。ローカライズ済みバージョンが利用できない場合は、カタログのデフォルト言語が使用されます。
QCCR1D225133	HPE Service Managerでローカライズ済み (英語以外) のカタログアイテムの svcDisplayレコードを更新すると、HPE Propelの発行済みの英語版カタログアイテムが更新され、最終的 (数回の更新後) には英語版アイテムの詳細フィールドの値が削除されます。	発行済みアイテムで表示される項目を決定するマージアルゴリズムの動作が次のようになりました。 <ul style="list-style-type: none"> ローカライズフィールドがテンプレートで指定され、発行済みアイテムでは指定されていない場合、テンプレートの値を使用する。 発行済みアイテムに値がある場合は、テンプレートの値ではなく、その値を使用する。 言語情報の消失を防ぐため、言語レベルのマージは行わない。

カタログ接続

CR	問題	解決策
QCCR1D221883	HPE SMで非アクティブ化された後、再度アクティブ化されたアイテムは、前のカタログに発行できません。	非アクティブ化後は、カタログで削除済み状態を設定するのではなく、すべてのカタログからアイテムを発行解除してください。

ドキュメント

CR	問題	解決策
QCCR1D219506	HPE Service Managerへのチケット送信のデフォルト再試行間隔とその変更方法について、ドキュメントで情報を提供してください。	『Administration Guide』を更新しました。HPE Service Managerシステムが利用できない場合に、HPE Propelがチケット配信を再試行する際の頻度と時間間隔のパラメーター変更手順を記載しました。
QCCR1D219509	SXTicketing.unlファイルがHPE Propel 2.10の/opt/hp/propel/sx/content/Storage/sm-ticketingフォルダーにありません。実際はこのフォルダーは存在しないうえ、このファイルを適用する必要もないため、この手順は削除が必要です。	『HPE Propel 2.20 Installation and Configuration Guide』から、SXTicketing.unlファイルへの言及箇所をすべて削除しました。
QCCR1D223562	『HPE Propel 2.10 Administration Guide』の5ページにガイドについての記載があり、そこに『HP Propel Troubleshooting Guide』が含まれています。このドキュメントは存在しないため、参照箇所の削除が必要です。	『Troubleshooting Guide』への参照箇所を削除しました。

ID管理

CR	問題	解決策
QCCR1D219666	グループ-ユーザー間のマッピングをHPE SMから同期すると、ユーザーの複製が作成されます。	今後は複製が作成されないように、一意の制約事項を追加しました。
QCCR1D222151	abstract_user_metadataテーブルでの計算済みグループの作成に問題があります。グループアクセス許可が前のユーザーから剥奪され、最後にログインした新規ユーザーに与えられます。	この問題は解決済みです。ユーザー管理は適切に行えます。
QCCR1D226634	名前にアクセント文字 (Météo des servicesなど) が含まれるウィジェットを作成すると、ウィジェットを削除できなくなります。	この問題は解決済みです。アクセント文字付きのウィジェットを正しく管理できるようになりました。
QCCR1D226727	フォールバックDNが使用されていると、iwaDN値が正しく設定されません。	iwaDN値が正しく設定されるようになりました。

ID管理 (続き)

CR	問題	解決策
QCCR1D219230	プロバイダー組織にHPE Propelのadminとしてログインして、コンシューマー組織を削除すると、プロバイダーおよびその他の設定済み組織が機能しなくなります。残りのコンシューマー組織やプロバイダー組織にログインしても、空白画面しか表示されません。	不明な組織が検出されても中断しないように、IdMを変更しました。

インストーラー

CR	問題	解決策
QCCR1D225959	app.jsonファイルに環境変数に見える\$caPath\$変数がありますが、参照先が存在しません。参照先はサブスクリプションの証明書です。	app.jsonファイルの\$caPath\$変数は、今では使用されていません。代わりに次の変数が使用されます。 \${params.installRoot}/security/CA.crt
QCCR1D226649	分散型HPE Propelにロックファイルが残っているため、Postgresが起動できません。	ロックファイルを削除しました。

ジャンプスタート

CR	問題	解決策
QCCR1D219229	ブラウザの言語がノルウェー語 (ブークモール) に設定されていると、ログインページに何も表示されません。	ブラウザに設定されている言語が利用できない場合は、HPE Propelで英語が使用されるようになりました。

ライセンス

CR	問題	解決策
QCCR1D219333	<p>ウィンドウ上部に、次のメッセージが赤帯で表示されます。</p> <p>「注意: HPEライセンスが無効です。ライセンスのないソフトウェアを使用しています。ライセンスを更新してください。」</p>	<p>HPE Propelでのライセンスチェックが、次のように行われるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効なライセンスが1つでもあれば、UIに赤帯 (またはエラーメッセージ) を表示しない。 ライセンス情報のロードに成功しても、ライセンスがすべて期限切れの場合は、次のエラーメッセージを表示する: 「HPEライセンスが無効です。ライセンスのないソフトウェアを使用しています。ライセンスを更新してください。」 ライセンス情報のロードに失敗した場合は、次のエラーメッセージを表示する: 「ライセンス情報をロードできませんでした。システム管理者に連絡してください。」

HPE Propel全般

CR	問題	解決策
QCCR1D215114	同僚の代わりにサービス要求を行う場合、[依頼対象] フィールドの表示と設定を行うアクセス許可がユーザーに必要です。	グループ承認を処理する新たな方法が導入されました。
QCCR1D220287	特定のカタログアイテムで、チェックを入れていないのに価格が自動的に表示されます (集約によって、価格を表示しないようにするボックスがチェックされます)。	この問題は解決済みです。
QCCR1D222744	HPE Propelで、ラテン (標準ASCII) 文字を使用したKM/文字列比較によるKMDキュメントの検索をどの言語でも行えるようにする必要があります。言語を制限しないでください。	HPE Service Managerに送られたクエリでは、検索対象が全言語の全記事の全詳細となっていました。HPE Propelによる情報のインデックス方法を修正しました。HPE Propelで、既存のナレッジ記事全体の再インデックスを必ず行ってください。

HPE Propel全般 (続き)

CR	問題	解決策
QCCR1D225896	ネットワーク停止の発生時やサーバーの再起動時に、HPE Propelはデータベースへの接続を試みます。HPE Propelの起動時に接続できない場合は、サービスが「不明」状態となり、HPE Propelがリブリングします。	データベース接続失敗時のマイクロサービスの回復能力が向上したため、この問題は解決済みです。
QCCR1D216645	パフォーマンステストを行うと、高負荷条件でCPU使用率が上昇します。また、低負荷条件でもCPU使用率の不要な上昇が見られます。	パフォーマンスを最適化しました。低負荷の場合のシステムのCPU使用率が大幅に下がりました。

サポートの要求

CR	問題	解決策
QCCR1D220842	サポート要求の説明に、HPE SMから集約したハイパーリンクのサポートを追加してください。	サポートカタログアイテムの集約が適切に行われ、簡単な説明と詳細な説明の両方が集約されます。[チケットの作成] ページに追加した詳細な説明にハイパーリンクが表示されます。
QCCR1D221526	HPE Service Managerのサービスデスク環境レコードで [オペレーターの氏名を使用する] を有効にすると、履歴サポートアイテムが集約されません。	この問題は解決済みです。
QCCR1D223421	サポート要求の検索後は、ブラウザーの [戻る] ボタンで次のサポートの要求 URL にリダイレクトされるようにしてください。 <a href="https://<FQDN>:9410/support/catalog/request-support">https://<FQDN>:9410/support/catalog/request-support	「サポートの要求」アプリケーションのナビゲーション動作を「ショップ」と同じ動作にしました。
QCCR1D223588	サポート要求に空のコメントを追加した場合は、エラーメッセージ「コメントの投稿中にエラーが発生しました。後でもう一度実行してください。問題が解決しない場合は、HPE Propel管理者にお問い合わせください。」ではなく、コメントがないことを示すエラーが生成されるようにしてください。	コメントテキストが空欄の場合は、コメントが投稿できないようになりました。テキストが書き込まれるまで、ボタンは無効になっています。

検索

CR	問題	解決策
QCCR1D219317	カテゴリのアクセス制御を編集しても、そのカテゴリの発行済みアイテムに、変更内容が必ずしも適用されません。アイテムによってはショップに表示されないものもあります。	アクセス制御設定が変更された時点で、すべての発行済みアイテムが直ちに更新されるようになりました。
QCCR1D219885	<p>グローバル検索機能の結果が、IDOL構成ファイルで設定されているデフォルト言語で返ります。つまり、ブラウザがスペイン語に設定されているカスタマーのHPE Propelインスタンスでも、デフォルトでは英語で結果が返ります。この挙動は次の手順で再現できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. HPE Propelを実行し、デフォルト言語がスペイン語のChromeを使用します。 2. アイテムをいくつか集約してHPE Service Managerから発行します。 3. HPE Propelのグローバル検索機能を使用してアイテムを検索します。 4. この検索結果がデフォルトでは英語で表示されます。 <p>スペイン語やポルトガル語、英語のユーザーがこのインスタンスを使用すると、結果が英語で表示されます。</p>	<p>search.ymlファイルに構成パラメーターがいくつか追加され、この仕組みの制御が向上しました。</p> <pre># Language Settings language: - tenant: DEFAULT defaultLanguageCode: en appendDefaultLanguage: true firstLanguageOnly: false</pre> <p>説明:</p> <p>tenant: パラメーターの定義先テナントを定義します。search.ymlファイルにテナントがない場合は、テナント「DEFAULT」がロードされます。</p> <p>defaultLanguageCode: デフォルト言語を定義します。デフォルト値: en (英語)。</p> <p>appendDefaultLanguage: ブラウザーの言語にデフォルト言語を追加するかどうかを指定します。デフォルト値: true。</p> <p>firstLanguageOnly: ブラウザーの先頭言語のみを採用し、定義されたデフォルト言語など、その他の言語を無視するかどうかを指定します。デフォルト値: false。</p>
QCCR1D224148	ショップアプリケーションをオープンすると一部のユーザーにはアイテムが表示されますが、メインウィンドウに表示された同じアイテムを検索しても結果が返りません。	カタログと同じ挙動となるように、検索構成を変更しました。

Service Exchange

CR	問題	解決策
QCCR1D219311	<p>HPE Service Managerで (サポートカタログアイテムに対する) ユーザー選択として「問い合わせ」を使用すると、HPE Propelでの集約が失敗します。sx.logファイルからの抜粋:</p> <pre>ERROR [...] [sx-impl.task Executor-4] [com.hp.ccue.serviceExchange. aggregation.AggregationService Impl] - Aggregation error item: Assistance to Isolated Children Incident (AIC) java.lang.Illegal ArgumentException: Duplicate entity key: Contact</pre>	<p>すべての非オプションフィールドに、プレフィックス「SM__」を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> SM__ServiceRecipient SM__smStatus SM__RequestedBy SM__Contact SM__NotifyBy SM__Urgency
QCCR1D219764	<p>障害が発生した場合、HPE PropelがHPE Service Managerに対して要求の送信を再試行します。ただし、最終的にチケットの送信に成功しても、HPE Propelでは要求のステータスが成功ではなく失敗として引き続き表示されます。</p>	<p>診断UIから再試行機能を削除しました。</p>
QCCR1D220073	<p>HPE Propelを使用したHPE SAWとの統合が行われません。文字列/整数が一致しないため、HPE PropelからHPE SAWへのAPIコールが</p> <pre>[com.hp.ccue.serviceExchange. adapter.saw.HttpClientImpl]</pre> <p>で失敗します。</p>	<p>最新のコンテンツパックでは、タイプが整数から文字列に変更されています。</p>
QCCR1D220712	<p>HPE Propel 2.10.p1に導入された新機能のサービス要求に対し、拡張ステータスマッピングが行われません (QCCR1D215925)。サービス要求の双方向通信が失われ、HPE Service Managerからのメッセージとステータス変更がHPE Propelに届きません。</p>	<p>サービス要求に対して拡張ステータスマッピングが行われるようになりました。</p>
QCCR1D223657	<p>HPE Propelのサポートチケットでチケットが作成されていても、SRCのサポートチェックアウトで追加されたフィールドの値がHPE Service Managerに入力されません。</p>	<p>HPE Propel 2.10では、HPE Service ManagerのWebサービスにあるSRC専用フィールドは、手動で構成する必要があります。この操作はもう不要です。</p>

Service Exchange (続き)

CR	問題	解決策
QCCR1D223225	言語が英語以外に設定されている場合、HPE Service Managerにオーダーを送信できません。	HPE Service Managerのサプライヤー構成に「en」以外のロケールを指定してから、このロケールにのみ存在する(「en」ローカライズがない)カタログアイテムをHPE Service Managerから集約することで、送信できるようになりました。「en」以外のロケールを指定した場合、そのロケールにカタログアイテムが存在しなければ、アイテムは集約されません。 カタログアイテムがすべて英語で存在する場合、サプライヤー構成でロケールを指定する必要はありません。
QCCR1D224478	HPE Propelの否認済みサービス要求が、[すべての承認]リストで「承認済み」と表示され、レコードをオープンするとステータスに「保留中のフルフィルメント」と表示されます。HPE Service Managerの否認済みサービス要求は、要求レベルで「否認済み」と表示される必要があります。	条件を<#elseif orderInfo.approvalStatus == 'denied'>に変更しました。

ショッピング

CR	問題	解決策
QCCR1D219410	https://propel:9010/shop/catalog?category=nnnn&sort=alphabetical などのURLに直接移動すると、アルファベット昇順ではなく、日時が新しい順にリストがソートされます。このURLが(ソートボタン操作後に)HPE Propel自体で生成された場合は、リストは適切にソートされます。	ソートが正しく行われるようになりました。
QCCR1D220057	オペレーター名の「_」が自動的に「-」に変換されてしまい、統合エラーが発生します。	すべての統合で、Identity Managerで生成される「名前」ではなく、元のオペレーター名が使用されるようになりました。

ショッピング (続き)

CR	問題	解決策
QCCR1D220388	あるユーザーが別のユーザーの代わりに要求を作成した場合は、要求実行者と要求対象者の両方がHPE Service Managerに表示されるようにしてください。	<p>HPE Propelで他のユーザーの代わりにオーダーされたアイテムは、HPE Service Managerで要求を表示すると要求実行者を確認できます。</p> <p>QCCR1D220382も参照してください。</p> <p>HPE SMの次のインタラクションフィールド (incidentsテーブル) が、正しく更新されるようになりました。</p> <p>opened.by (HPE Propel 2.20以降のみ) bRequestOnBehalf contact.name callback.contact</p> <p>デフォルトでは、これらのフィールドはプロセスデザイナーフォームでは利用できません。次のフォームは更新可能です。</p> <p>sd.interaction.subform.details sd.interaction.svc.subform.details</p>
QCCR1D220382	別のユーザーの代わりにオーダーすると、HPE Service Managerのサービスアイテムとサポートアイテムに対してRequestOnBehalf (true/falseフラグ) が正しく計算されません。	<p>HPE Service Managerで、代理要求で送信されたオーダーにRequestOnBehalf = trueというフラグが付けられるようになりました。</p> <p>QCCR1D220388も参照してください。</p> <p>HPE SMの次のインタラクションフィールド (incidentsテーブル) が、正しく更新されるようになりました。</p> <p>opened.by bRequestOnBehalf contact.name callback.contact</p> <p>デフォルトでは、これらのフィールドはプロセスデザイナーフォームでは利用できません。次のフォームは更新可能です。</p> <p>sd.interaction.subform.details sd.interaction.svc.subform.details</p>

ショッピング (続き)

CR	問題	解決策
QCCR1D220475	製品のいくつかの箇所にスペルの誤りがあります。例:「below」ではなく「bellow」が使用されています。	スペルの誤りを修正しました。
QCCR1D223586	テキストが200文字を超える場合、サービスチケットのテキスト表示領域からはみ出して表示されます。	必要に応じて、テキストの強制折り返しや、ボックスの拡張が行われるようになりました。
QCCR1D219872	アイテム価格の表示を無効にしても、ショップで価格が引き続き表示されます。	価格を無効にすると、ショップでアイテムが正しく(価格なしで)表示されます。このエラーが発生する既存のレコードを正しく表示するには、カタログの再インデックスを行ってください。
QCCR1D224262	<p>あるユーザーが別のユーザーの代わりにアイテムをオーダーする場合、受信者選択の検証に関して問題が2点あります。</p> <ul style="list-style-type: none"> HPE Service Managerに間違った受信者が渡される: ユーザーがドロップダウンボックスから受信者を選択した後で考え直し、入力フォームに別のユーザー名(認識されない名前)を入力して[送信]ボタンをクリックすると、最初に選択した受信者の詳細がバックエンドのフルフィルメントシステムに渡されます。その結果、間違った最終受信者に対してアイテムが購入されます。 HPE Service Managerに無効な受信者が渡される: ユーザーがドロップダウンリストの選択肢に存在しない名前を入力して[送信]をクリックすると、HPE Service Managerにその情報が渡されます。その結果、最終的に受信者が存在しないアイテムがオーダーされます。 <p>フォームの送信前に検証を行い、両方の問題を解決する必要があります。</p>	<p>[受信者] フィールドに検証を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザーがドロップダウンからユーザーを選択しなかった場合は、チェックアウト時に[受信者] フィールドの検証が行われます。[受信者] フィールドが無効な場合は、「有効な受信者を選択する必要があります。」というエラーメッセージが表示されるようになりました。 表示された受信者とオーダーで設定されたユーザーが異なる場合、ユーザーは送信できません。 ユーザーが、受信者の選択後にフィールドからテキストの一部またはすべてを削除した場合、検証により選択されたユーザーがクリアされ、ボタンも無効になります。ユーザーが新たなユーザーを[受信者]として選択するか、[受信者] フィールドのテキストをすべて削除しない限り、検証エラーは解消されません。

ショッピング (続き)

CR	問題	解決策
QCCR1D225691	承認の詳細画面に表示される承認者名が一定ではありません。氏名が表示されることもあれば、ログイン名が表示されることもあります。	ユーザーの表示方法について設計のリファクタリングを行い、この問題に対処しました。

よくある質問

HPE Propelと統合システムで共通のID

質問	HPE Propelで共通タスク(チケット発行、ショッピングなど)の実行中、不明ユーザーに関するエラーがHPE Propelのログファイルに記録されることがあります。
回答	この問題は、HPE SMなど、独自のユーザー管理機能を備えたシステムで発生することがあります。これらのユーザーが、HPE Propelで使用するLDAPサーバーでのユーザー設定と異なる可能性があります。HPEは、すべての統合システムがHPE Propelと同じLDAPサーバーを共有することを推奨しています。共有しない場合は、HPE Propelシステムと統合システムの両方でユーザーの名前を同じにしてください。

HPE Propelのダウンロードファイル

質問	HPE SSOサイト (https://softwaresupport.hpe.com) からは、どのような種類のHPE Propelファイルをダウンロードできますか?
回答	<ul style="list-style-type: none">• READMEファイル:<ul style="list-style-type: none">◦ HPE_Propel_SX_220_Doc_Readme.pdf◦ HPE_Propel_SX_220_Doc_Readme_JP.pdf• HPE Propel OVAファイル: propel-2_20.ova• 圧縮ファイル (Propel-v2.20-OSRB.tar)。これには必要なソースファイル、およびHPE Propelで使用するオープンソースライブラリに関連する使用許諾契約書が含まれています。関連する使用許諾契約書によりソースの配布が求められます。• HPE Operations Orchestration 10.20インストーラーファイル (分散型HPE Propelを使用する場合、通常のHPE Propelのインストールには必要なし): oo-installer-linux64.bin

LDAPサーバーに追加された新規ユーザーがすぐにHPE Propelにログインできない

質問	HPE Propelと組み合わせて構成されたLDAPサーバーにユーザーを追加したときに、新規ユーザーがHPE Propelにすぐにログインできないのはなぜですか?
----	---

LDAPサーバーに追加された新規ユーザーがすぐにHPE Propelにログインできない (続き)

回答	<p>HPE Propel 2.20では、自動化されたバックグラウンドのLDAPグループ読み込みが導入されています。デフォルトで、この自動化されたLDAP登録者ローダーはバックグラウンドタスクとして実行され、前のタスクが完了してから10分後に再起動します。このタスクが完了するのに要する時間は、LDAPグループのサイズによって変わります。</p> <p>同期が完了したかどうかを確認するには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none">1. ログファイル/var/log/propel/idm/idm.logを開きます。2. フレーズ "Finished ldap roster loader." を検索します。3. 同期が完了している場合、メッセージに継続時間が表示されます。たとえば、duration 2s734msは2秒と734ミリ秒です。 <p>新しいLDAPユーザーがHPE Propelにログインするタイミングを特定するには、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">• LDAPサーバーが新規ユーザーをHPE Propelに同期させるのを待ちます。• あるいは次のように、IdMを再起動してバックグラウンドタスクを直ちに開始することもできます。 <pre># systemctl restart idm</pre> <p>この操作は同期の開始を早めるだけで、同期の完了に必要な時間には影響しません。</p> <div>注意: 本番環境でこの操作を行うことはお勧めできません。</div> <p>自動化されたバックグラウンドのLDAPグループ読み込みの時間間隔は再構成できません。</p> <div>注: 時間間隔を短くすると、HPE Propelのパフォーマンスが低下します。</div> <p>特定の構成において、時間間隔を短くして実行することでメリットが得られる場合 (つまり、時間間隔を短くしたときのメリットがリソース消費が増大するコストを上回る場合) に、時間間隔を短くしてください。</p> <p>LDAP登録者ローダーの時間間隔を再構成するには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 次のファイルを開きます。 <pre>/opt/hp/propel/idm-service/idm-service.war/WEB-INF/spring/applicationContext-services.xml</pre> <ol style="list-style-type: none">2. 次の内容を含む行を検索します。 <pre><task:scheduled ref="ldapRosterLoader" method="loadRosters" fixed-delay="600000" /></pre> <ol style="list-style-type: none">3. fixed-delayの値を600000 (ミリ秒) —10分— から、それぞれの構成に適した値に変更します。
----	---

LDAPサーバーに追加された新規ユーザーがすぐにHPE Propelにログインできない (続き)

	<ol style="list-style-type: none">4. ファイルを保存して終了します。5. IdMサービスを再起動します。 <pre># systemctl restart idm</pre>
--	--

ナレッジ管理のアイコン

質問	HPE SMの記事投票アイコンは、ブラウザーごとにKMでの表示が異なり、HPE Propelで機能しません。
回答	<p>HPE SMでは、表示するアイコンを設定できます。HPE Propelでは設定できません。</p> <p>デフォルトのHPE SM記事テンプレートを変更することで、アイコンを削除できます。</p> <ol style="list-style-type: none">1. HPE SM管理コンソールにログインします。2. ナレッジ/文書タイプにアクセスします。3. 文書タイプごとにデフォルトビューを開き、HTMLテンプレートから3つのアイコンを削除します。

集約の追加 - displayName列に関するクエリフィルターの問題

質問	HPE SMサプライヤー用の集約を追加し、[クエリフィルター] フィールドにdisplayName値を指定しても、カタログアイテムの正しいセットが集約に追加されません。
回答	これは、displayName列に関するHPE SMの問題です。この問題を解決する方法については、『HPE Propel 2.20 Administration Guide』を参照してください。

最新ニュースアプリケーションの構成

質問	HPE Propelがファイアウォールの内側に設置されている場合に、新しい最新ニュースアプリケーションでRSSフィードを構成する方法を教えてください。
回答	最新ニュースアプリケーションを構成する方法については、『HPE Propel 2.20 Administration Guide』を参照してください。

HPE Propelのログメッセージが見当たらない

質問	『HPE Propel 2.20 Installation and Configuration Guide』に記載されているように、一部のログメッセージがHPE Propelのログファイル内にありません。これらのログメッセージはどこにありますか？
回答	<p>ログメッセージがHPE Propelのログファイルで確認できない場合は、 /var/log/messagesファイル内を検索してください。これは、次のHPE Propelサービスに適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none">• diagnostics• idm• notification• search• subscription

ローカライズされたオンラインヘルプ

質問	HPE Propelのオンラインヘルプはどの言語にローカライズされていますか？
回答	HPE Propelオンラインヘルプは、ドイツ語、フランス語、日本語、スペイン語、韓国語、ポルトガル語 (ブラジル語)、ロシア語、簡体字中国語版が用意されています。

ドキュメントのフィードバックの送信

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールでドキュメント制作チームまでご連絡ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリックすることで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

フィードバック: リリースノート (Propel 2.20)

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信]をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの新規メッセージに貼り付け、Propel_IE@hpe.com宛にお送りください。

お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。

